

2016年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社 **メルコホールディングス** (6676)

2015年10月29日

本日の内容

1. 2016年3月期 第2四半期(連結)決算概要
2. 重点取組みのご報告
3. 2016年3月期 業績見通し
4. メルコグループのご紹介

2016年3月期 第2四半期(連結)決算概要

第2四半期(累計)連結決算のポイント

1. 周辺機器事業が4期ぶりの増収に

個人消費が冷え込む中、高付加価値製品の投入、販促強化により、ブランド価値向上に注力



2. サービス事業は自社サービス比率向上で増益

光回線の代行設定サポート事業から「アパートWi-Fi」等高利益率の自社サービス比率が高まり増益



3. 海外事業は戦線縮小を余儀なくされる

NAS製品を中心に展開を試みたものの、競争激化による大幅な戦線縮小を余儀なくされる



第2四半期(累計) 連結決算P/L

売上高 : 周辺機器事業の4期ぶりの増収、堅調な金融事業の成長により増収

営業利益 : 周辺機器事業の利益率改善、販管費削減により増益

	1503期 2Q累計 (億円)	1603期 2Q累計 (億円)	前期比	
			増減率(%)	増減額(億円)
売上高	385	389	1.1	4
営業利益 (率)	13 (3.5%)	18 (4.7%)	39.2	5
経常利益 (率)	18 (4.6%)	23 (5.9%)	29.3	5
当期純利益 (率)	13 (3.3%)	16 (4.0%)	25.1	3

第2四半期(累計)事業別連結売上高

周辺機器：高付加価値製品の投入、市場シェアの堅持で増収

サービス：光回線の代行設定サービスの減少により減収

金融：市況が厳しい中を堅調に推移し増収

		1503期 2Q累計 (億円)	1603期 2Q累計 (億円)	前期比	
				増減率(%)	増減額(億円)
	周辺機器	368	372	1.1	4
	サービス	12	11	▲6.4	▲1
	金融	5	6	22.8	1
	合計	385	389	1.1	4

第2四半期(累計)事業別連結損益

周辺機器：利益率改善や営業努力及び販管費削減が奏効し増益

サービス：利益率の高い自社サービス比率が高まり増益

金 融：市況が厳しい中を堅調に推移し増益

		1503期 2Q累計 (億円)	1603期 2Q累計 (億円)	前期比	
				増減率(%)	増減額(億円)
	周辺機器	8	15	87.4	7
	サービス	2	2	9.8	0
	金 融	2	3	32.5	1
	計	12	20	66.4	8
	消 去	1	▲ 2	—	▲ 3
	合 計	13	18	39.2	5

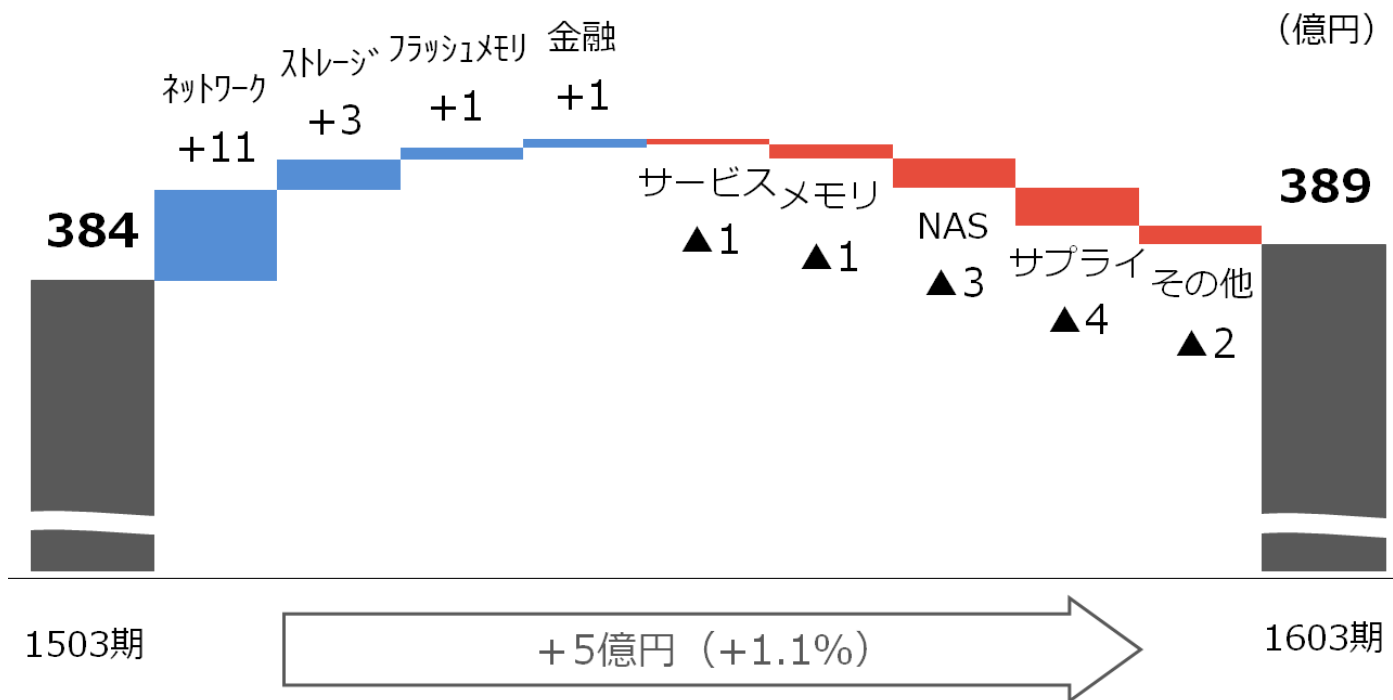
第2四半期(累計)カテゴリ別売上高分析

増収
16億円

国内：周辺機器事業における高付加価値製品注力
金融事業の堅調な推移

減収
11億円

国内：メモリ市場の縮小、サプライ低収益製品の抑制
海外：NASビジネスの計画未達

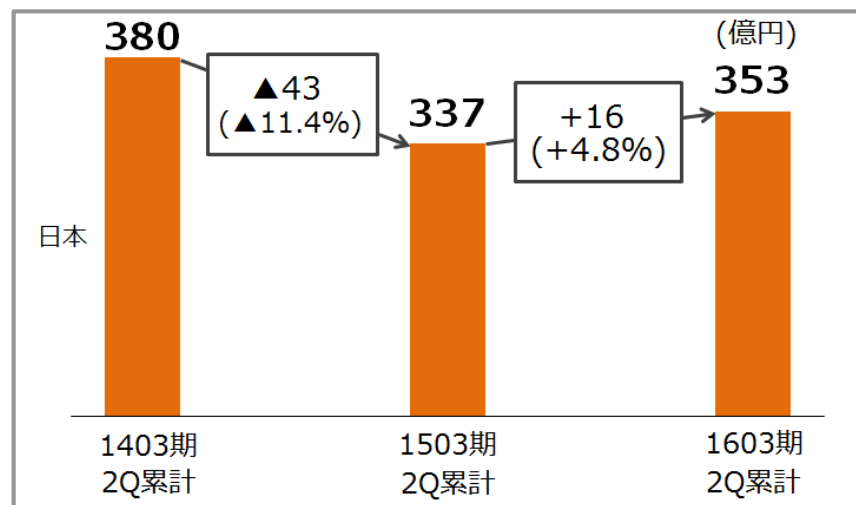


第2四半期(累計) 地域別売上高推移

単位：億円	日本	北米・中南米	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高 (前期比)	353 (4.8%)	17 (▲21.4%)	11 (▲31.0%)	9 (▲19.2%)	389 (1.1%)

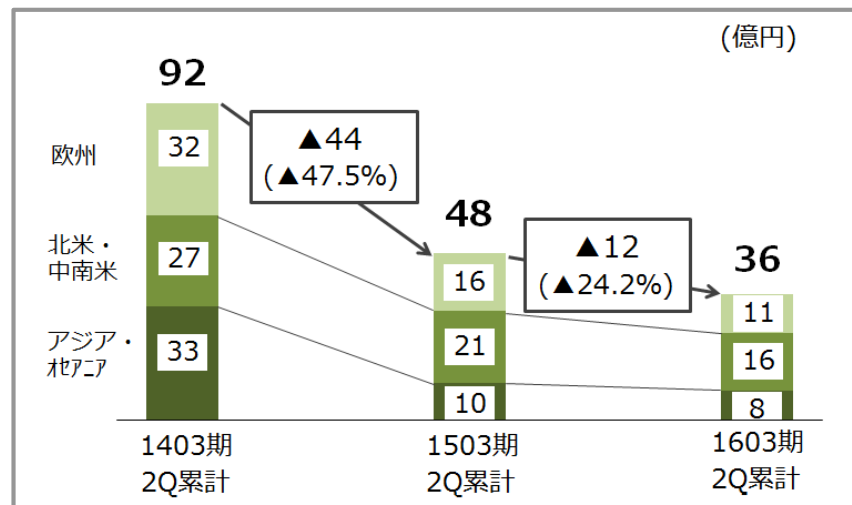
<日本>

高付加価値製品への注力、市場シェアの堅持
金融事業の堅調な推移により増収。



<海外>

競争激化による大幅な戦線縮小により減収



四半期連結決算 B/S

単位：百万円		1503期末	1603期 2 Q末	差異
流動資産		65,579	62,980	▲2,599
	現金及び預金	8,404	5,398	▲3,006
	受取手形及び売掛金	13,844	11,456	▲2,388
	棚卸資産	8,487	8,338	▲149
	その他の流動資産	34,844	37,788	2,944
有形・無形固定資産		1,910	1,732	▲178
投資その他の資産合計		1,524	2,185	661
資産合計		69,015	66,898	▲2,117
流動負債		21,276	18,342	▲2,934
	支払手形及び買掛金等	14,197	11,851	▲2,346
	未払法人税等	372	555	183
	その他の流動負債	6,707	5,936	▲771
固定負債		2,373	2,599	226
負債合計		23,650	20,941	▲2,709
純資産合計		45,364	45,956	592
負債純資産合計		69,015	66,898	▲2,117

重点取組みのご報告

重点取組みのポイント

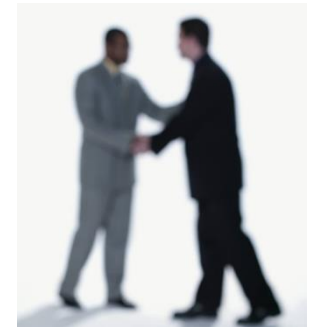
1. 高付加価値製品の投入とポジション堅持

高付加価値製品の投入によりブランド価値を向上
個人消費が冷え込む中、数から質への転換を図る



2. カスタム製品による法人市場の深耕

産業機器向けのカスタム製品
特殊な環境での利用を想定した新規製品



3. 収益力強化活動の継続

グループ収益の安定化を目指し、ロスコスト削減
活動の継続に加え、サービス事業の強化に注力



1. 高付加価値製品の投入とポジション堅持

高付加価値製品の投入によりブランド価値を向上

高付加価値製品の投入

■ 個人向け



大型可動式アンテナ搭載
11ac4x4対応無線LAN



「スマホでビデオ」
LinkStation MyBox

■ 法人向け



耐環境モデル
法人向け無線アクセスポイント



信頼性・耐障害性に優れた
ハードウェア RAID 6 搭載
NAS

ポジションの堅持

個人消費が冷え込み「数から質」への転換が迫られる中、高付加価値製品へ注力しながらポジション（市場シェア）はしっかり堅持



2. カスタム製品による法人市場の深耕

法人向け事業へのシフトを加速させ、収益力強化を図る

産業用機器市場への深耕

バッファローメモリの産業機器向けカスタム製品ビジネスが収穫期を迎え、納入実績が増加。

BUFFALO 株式会社 バッファローメモリ



特定用途向け製品の強化

■ NAS

UPS「無停電電源装置」に対応したファームウェアをリリース。ビデオ監視市場等の新規市場への導入促進を図る。

■ 無線AP

過酷な屋外環境にも対応する、高耐久ボディのアクセスポイント。Wi-Fi活用エリアをさらに広げていきます。

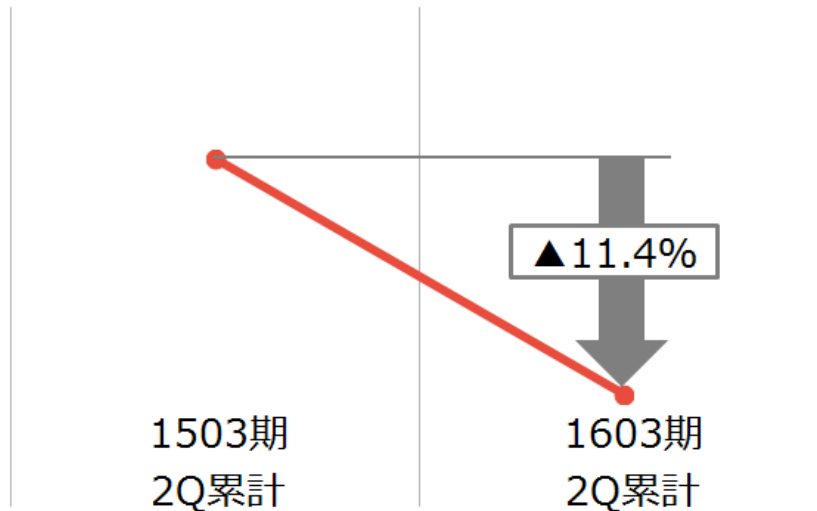


3.収益力強化活動の継続

ロスコスト削減活動を継続し、サービス事業の高収益化に注力

ロスコスト削減活動

品質向上、評価損・廃棄損の削減により前期比約11%減



自社サービス比率の向上

好評の「アパートWi-Fi」は前期を大きく上回るペースで導入が進み、新たに「BITSレンタル」サービスを開始。

The advertisement features a man in a blue uniform looking distressed, holding his head. Text bubbles around him say '現場で起こる「困った」を解決' (Solving problems that occur on-site), '建築資材が紛失...' (Construction materials lost...), and '施工写真を消失した...' (Construction photos disappeared...). The logo for 'BITS レンタル' (BITS Rental) is prominently displayed, with the tagline '安心をバックにした プレミアムレンタル' (Premium Rental with peace of mind as a backstop). Below the logo, it says 'Premium Rental'.

第2四半期(累計) 営業利益分析

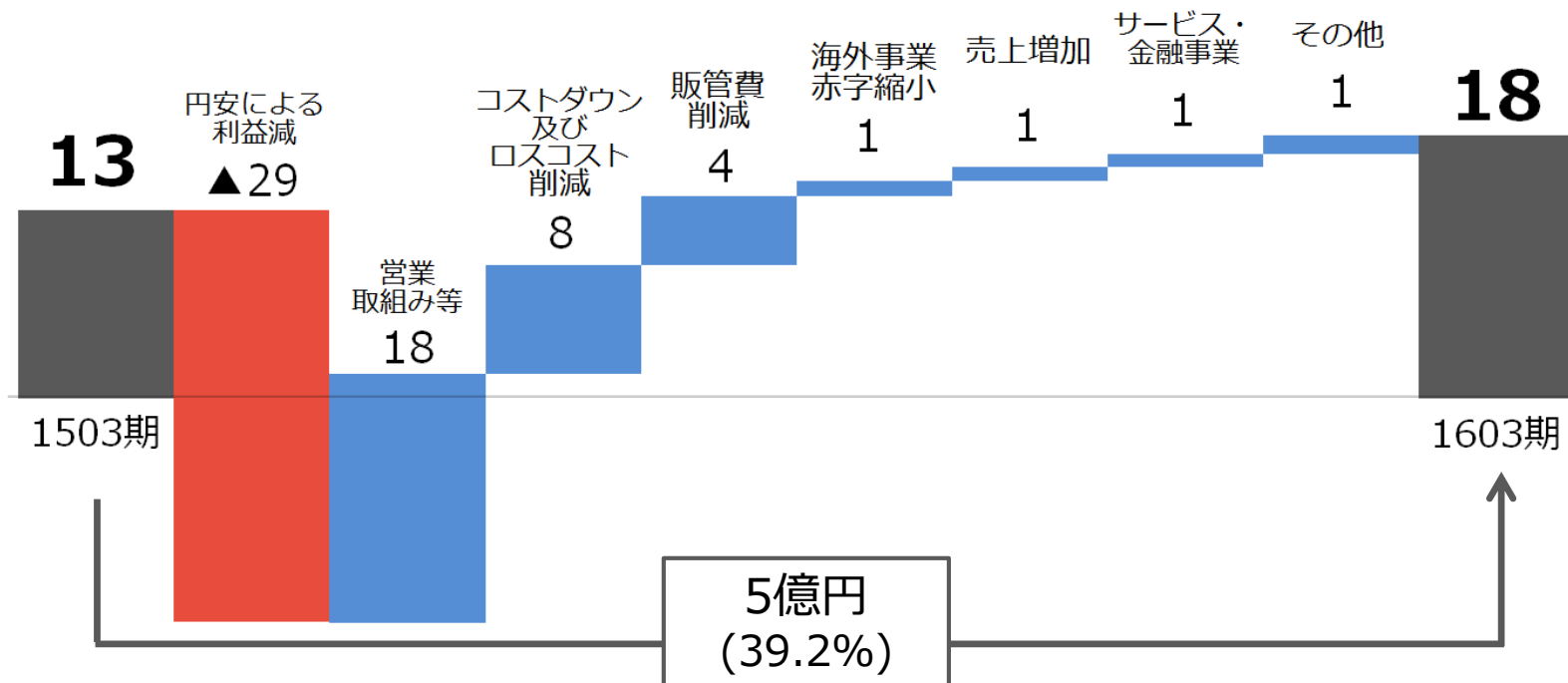
減益
29億円

円安による利益減▲29億円（前年同期の為替レート比較）

増益
34億円

営業取り組み、コストダウン、販管費の削減等により、34億の増益

（億円）



2016年3月期 業績見通し

2016年3月期 年間業績見通しのポイント

1. 通期連結業績は増収増益を見込む

売上高 : 870億円 (前期比 : 5.4%)

営業利益 : 48億円 (前期比 : 36.7%)



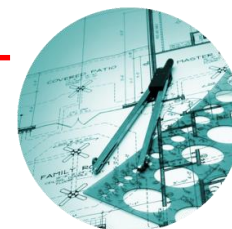
2. 為替は引き続き円安傾向を見込む

為替レートは、下期 : 1ドル = 125円を想定



3. 上期取り組みを継続

個人向け市場はポジションを堅持しながら高付加価値製品へ注力し、法人市場はカスタム製品・特定用途向け新規製品による深耕を継続



2016年3月期 年間業績見通し

売上高 : 周辺機器の高付加価値化、サービス・金融の成長で増収

営業利益 : 高付加価値製品比率の向上およびコストダウン、販管費の抑制（生産性の向上）により増益

	1503期 実績 (億円)	1603期 見通し (億円)	前期比	
			増減率(%)	増減額(億円)
売上高	826	870	5.4	44
営業利益 (率)	35 (4.3%)	48 (5.5%)	36.7	13
経常利益 (率)	45 (5.4%)	56 (6.4%)	25.2	11
当期純利益 (率)	32 (3.8%)	36 (4.1%)	13.7	4

2016年3月期 事業別連結売上高

周辺機器：高付加価値製品比率の向上とシェアの堅持で増収

サービス：光回線の代行設定サービスの減収分を自社サービスの拡大でカバーし増収

金 融：堅調な推移でほぼ前期並みと予想

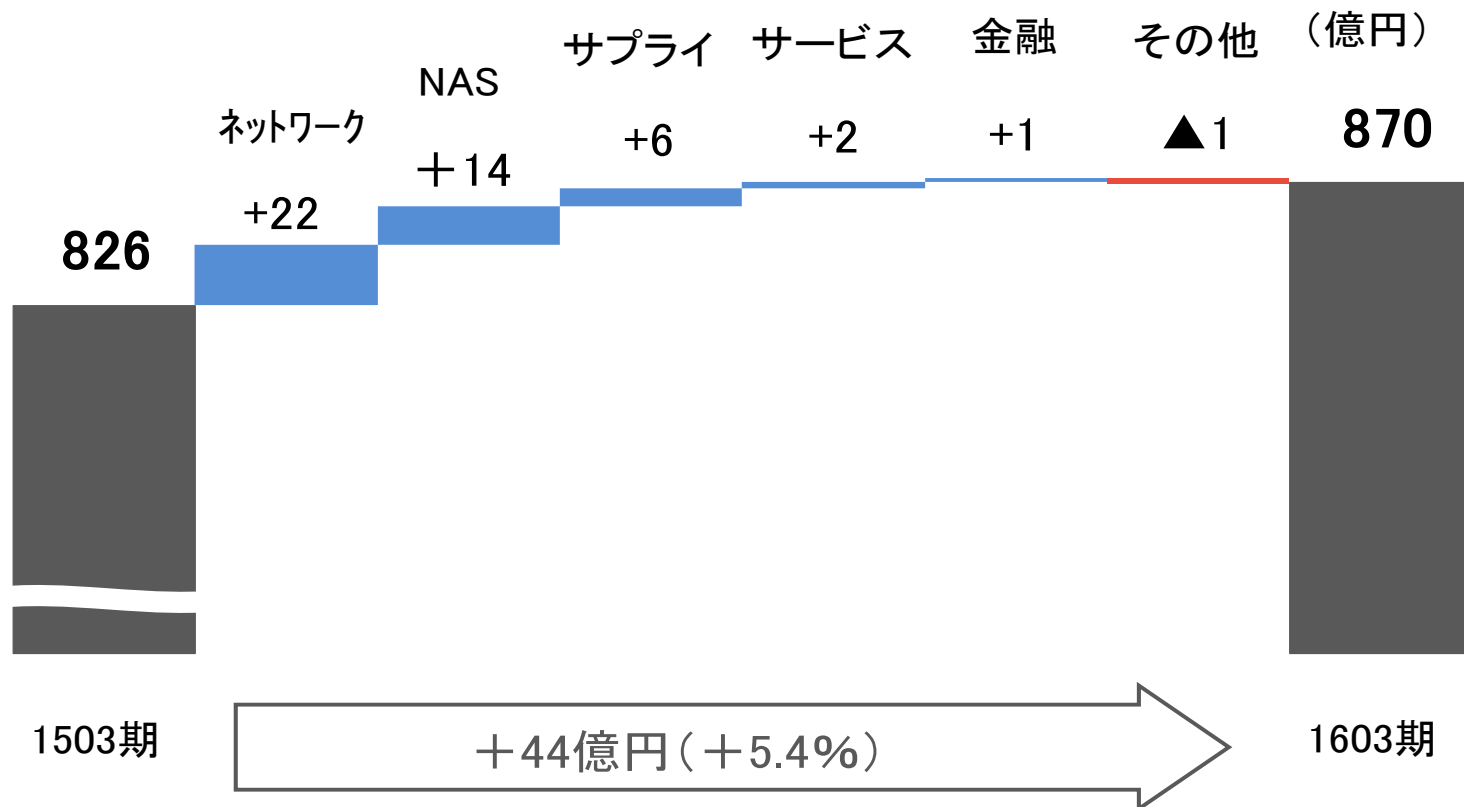
		1503期 実績 (億円)	1603期 見通し (億円)	前期比	
				増減率(%)	増減額(億円)
	周辺機器	791	832	5.1	41
	サービス	23	25	8.7	2
	金 融	11	12	9.1	1
	合 計	826	870	5.4	44

2016年3月期 カテゴリ別売上高分析

前期差44億円の増収、主な要因は以下の通り

主な増収要因

好調なネットワークカテゴリを主体に
高付加価値製品の投入・拡販を継続

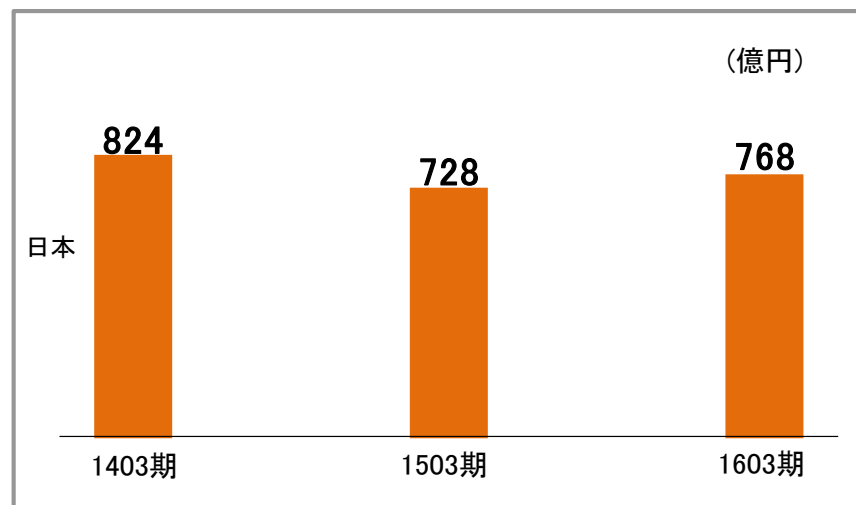


2016年3月期 地域別売上高見通し

単位：億円	日本	北米・中南米	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高 (前期比)	768 (5.4%)	48 (7.3%)	31 (▲2.5%)	23 (9.8%)	870 (5.4%)

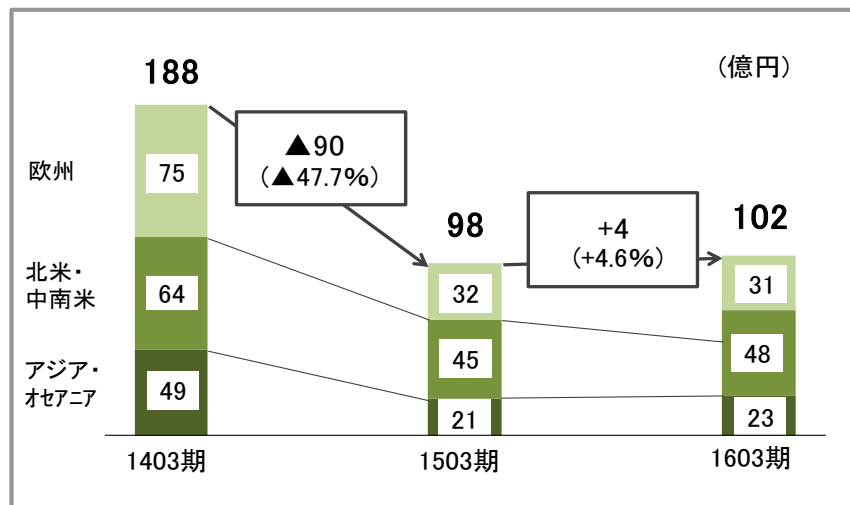
<日本>

好調なネットワークと法人向けNASの拡販により増収を見込む（国内NASは好調）



<海外>

海外販社の体制が整い、法人向け高付加価値製品へのシフトが進み増収へ



設備投資・減価償却費・研究開発費

単位：百万円		1403期 実績	1503期 実績	1603期 2Q累計 実績	1603期 (見通し)
設備投資		1,385	432	144	364
	有形	420	306	111	326
	無形	964	126	33	38
減価償却費		862	774	321	622
	有形	462	343	113	250
	無形	399	431	208	372
研究開発費		2,810	2,517	985	2,149

メルコグループのご紹介

メルコグループ

メルコホールディングス 純粋持株会社

バッファロー

BUFFALO

中核となるブランドメーカーで
デジタル家電・パソコン周辺機器の
総合メーカー

バッファローメモリ

電子部品・電子応用製品の開発・販売

バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

シー・エフ・デー販売

CFD

ハイレベルな個人ユーザー向け

バッファローダイレクト

インターネットを活用した機器の販売

メルコフィナンシャルホールディングス

グループにおける金融事業の統括管理

バッファロー・IT・ソリューションズ

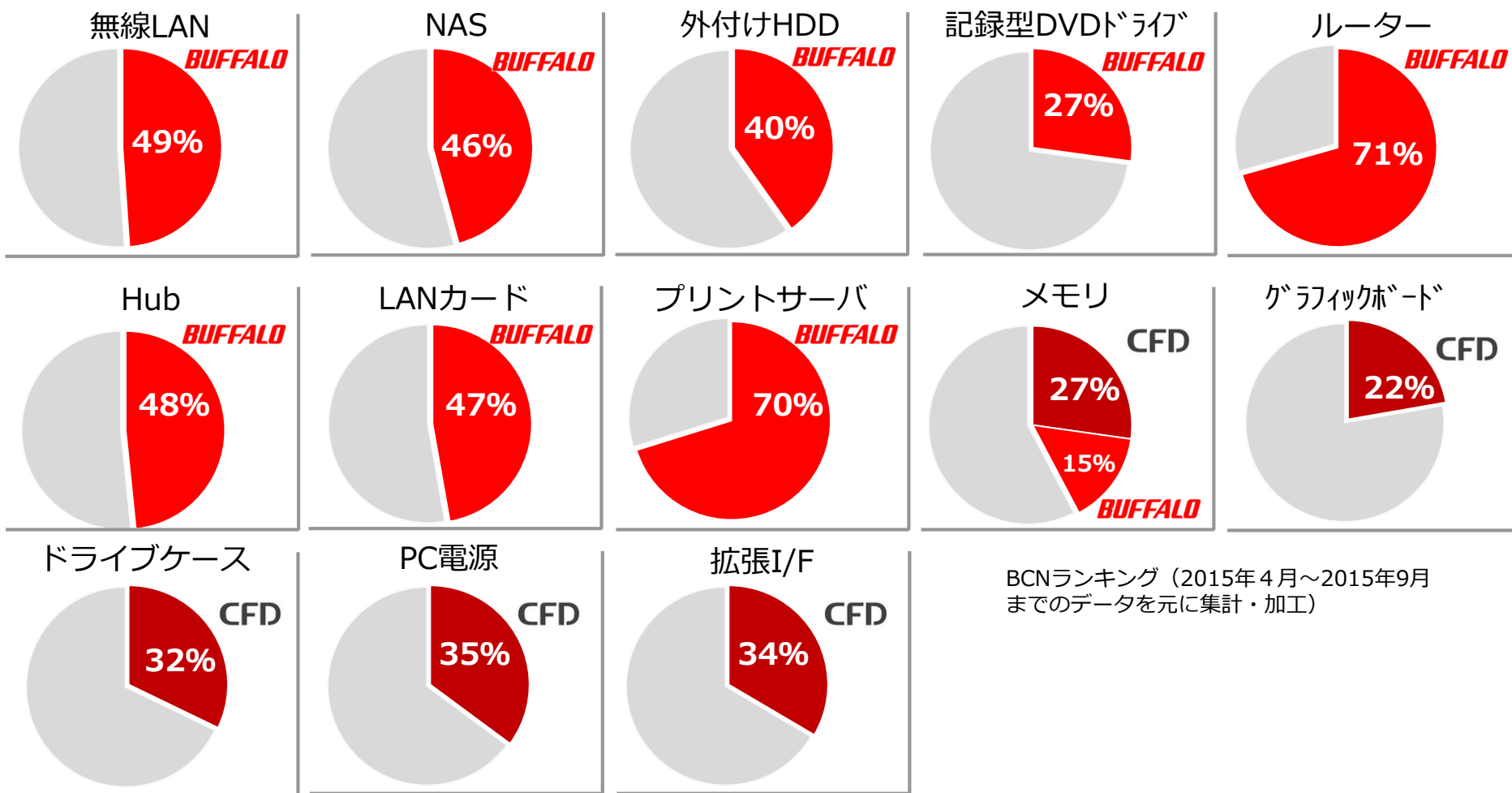
BUFFALO
IT Solutions

納入設定・設置・保守サービス

[海外] Buffalo Americas 他

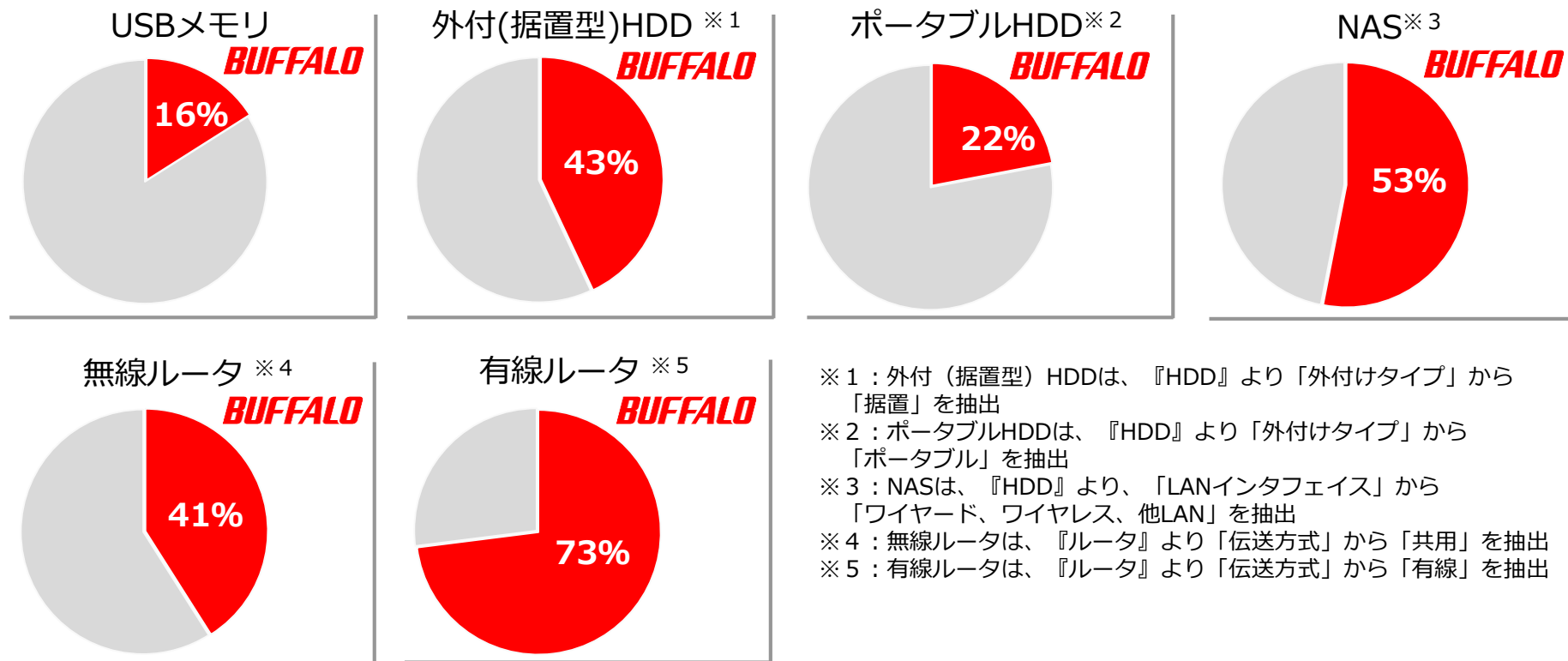
法人向けNAS・無線LANなどの販売

高い店頭シェアを誇り、多くの製品がシェアNo.1



BCNが実施する「BCN AWARD」において、バッファローで9部門、CFD販売5部門の計14部門で2014年1月～2014年12月集計のメーカー別販売数量シェア第1位であることを認定されました

GfK Japan 調べでも高い店頭シェアを誇ります



全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japan調べ（2015年4月～2015年9月までのデータを元に集計） ※メーカー別販売数量シェア



GfK Japanが実施する「GfK Certified」において、HDD、ネットワーク、USBメモリで2014年1月～2014年12月集計のメーカー別販売数量シェア第1位であることを認定されました

コンタクトセンター・アワード2015 「最優秀テクノロジー部門賞」を受賞

動画を活用した「動画Q&A」の提供等、ユーザーの多様化
製品カテゴリの多様化に対応した取り組みが評価されました。



伝送品質を極めた、ハイレゾ・オーディオNAS

一切の妥協を排し、持てる技術のすべてを集約。
マスターサウンドを楽しむための究極のオーディオ専用機器



<評論家・販売店・オーディオファンの方の生の声(例)>

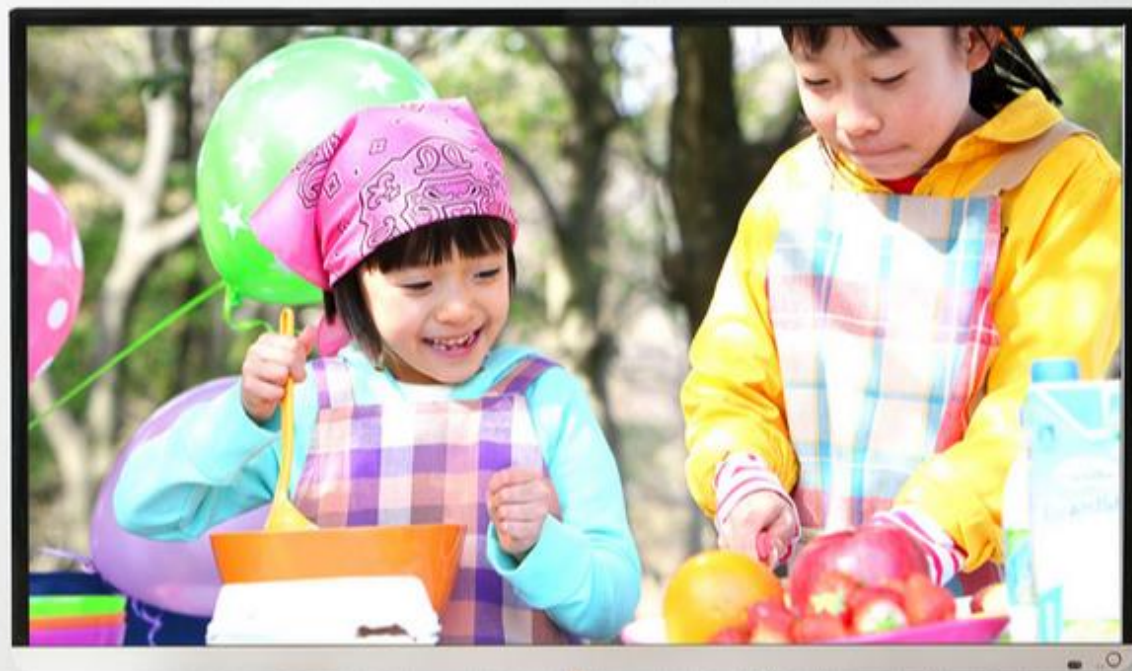
“従来のNASからすると、まさに「音の革命だ」と快哉を叫びたい音だ。” 評論家A氏

“このNASは、さすがに違います。ここまで徹底すればこういう音がする、という見本の様なNAS。” 販売店B氏

“(。Д°； 三； Д°) マジ!?音が違います。不思議なことに音の解像度が違うんです。” 一般C氏

すべてのおもいでをここに「おもいでばこ」

すべての
おもいでをここに。
振り返るひとときと共に。



撮影後の「取り込み」、「整理」、「鑑賞」を簡単に

大型可動式アンテナ搭載 11ac 4 x 4 無線AP

「無線LANのバッファロー」を体現したフラッグシップ。
複数同時接続・高負荷に耐える、高速転送・安定性を実現。

4×4

大型可動式アンテナが実現

家の形状に合わせて
フレキシブルな電波環境づくり

アンテナの角度を変えて電波の向きを、お住まいの環境に最適化できる4本の大型可動式アンテナを採用。

アンテナ内蔵タイプではできない、縦横自在なWi-Fi電波環境のカスタマイズにより、家の隅々まで高速で安定した電波供給を実現します。



スマホに保存せずにどこでも録画番組が見られる

DLPAリモートアクセス対応NASがあれば、どこからでもスマートフォンで録画番組の視聴が可能です

ランチタイムに



電車の待ち時間に



「カチカチ」というクリック音を抑えた静音マウス

静音スイッチを採用することで、クリック音を従来のモデルより約97%※カット。寝ている赤ちゃんにもやさしいマウスです



※静音マウス(24.5dB)と従来モデル(41.2dB)のクリック音の音圧レベルから算出した音響パワーの比較。
音響パワーレベル=10Log(W/WO) W:音響パワー(dB) WO:基準となる音響パワー。

賃貸物件一棟まるごと無線化「アパートWi-Fi」

オーナー様の空室が埋まらない悩みを解消し、入居者様には通信費が節約できる嬉しい物件に変えるサービス



「アパート Wi-Fi」とは

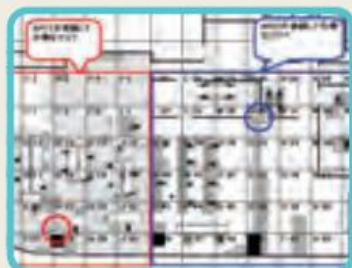
1本の光回線を同じアパートにお住まいの方でWi-Fiにて共有し、インターネットをご利用いただくサービスです。



事前調査・設置から保守までトータルでサポート



事前調査



無線LAN設計



設定・設置・工事



保守

<ご契約オーナー様の生の声(例)>

“Wi-Fiの無料サービスは既存の入居者様にも喜んでいただけたようで、更新時期の3ヶ月前に設置工事のお知らせをしたところ、入居者全員が更新となりました。” オーナーA氏

“Wi-Fi付きですから、同じ家賃の他物件と比べてかなり有利になります。そのおかげかどうかはわかりませんが、空室がすべて埋まりました。” オーナーB氏

森の経営の強化を図り、グループ収益力強化へ

永続的な成長といかなる外部環境の変化にも耐えうる強固な事業ポートフォリオ構築を目指して、以下の事項を当面の経営課題として認識し対応にあたっております

- ①創業40周年を2015年に迎えるにあたり、創業者である牧誠が築いた事業基盤の円滑で混乱のない承継を完了すること
- ②デジタル家電およびパソコン市場の動向に過度に依存しないグループ事業ポートフォリオを早期に構築すること
- ③IoT時代に向けた製品開発、販路開拓、サービス提供を推進するための社内人材を育成すること
- ④経営理念であるメルコバリューのより一層の浸透に努め、グループの一致団結を推進すること



メルコバリュー

■千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します

■顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの知恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします

■変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します

■一致団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します

本資料に関するご注意等

本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績見通しならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

<お問合せ先>

株式会社メルコホールディングス 管理部

TEL : 050-5830-8865 / FAX : 050-5830-8867

E-mail : ir@melcoinc.co.jp